TADOKU JUNIOR　英語で読む日本の昔話　★★★☆☆ ふつう　482語

Battle of the Monkey and the Crab

さるかに合戦

Traditional (tr. A. B. Mitford)（1919年の本）　原文そのまま　朗読：Annoying Twit

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　おもちとかきのたねを取りかえたカニ。ところが、ずるいサルは木の上で、うれたかきをひとりじめ……。カニのなかまたちのしかえしが始まります。



A monkey and a Crab once met when going round a mountain.

The Monkey had picked up a persimmon-seed, and the Crab had a piece of toasted rice-cake. The Monkey, seeing this, and wishing to get something that could be turned to good account at once, said, "Pray, exchange that rice-cake for this persimmon-seed." The Crab, without a word, gave up his cake, and took the persimmon-seed and planted it. At once it sprung up, and soon became a tree so high one had to look far up to see it. The tree was full of persimmons, but the Crab had no means of climbing it, so he asked the Monkey to scramble up and get the fruit for him. The Monkey got up on a limb of the tree and began to eat the persimmons. The unripe ones he threw at the Crab, but all the ripe and good ones he put in his pouch. The Crab under the tree thus got his shell badly bruised, and

only by good luck escaped into his hole, where he lay distressed with pain, and not able to get up. Now, when the relatives and household of the Crab heard how matters stood, they were surprised and angry, and declared war, and attacked the Monkey, who, leading forth a numerous following, bade defiance to the other party. The crabs, finding themselves unable to meet and cope with this force, became still more exasperated and enraged, and retreated into their hole and held a council of war. Then came a rice-mortar, a pestle, a bee, and an egg, and together they devised a deep-laid plot to be avenged.

First, they requested that peace be made with the crabs; and thus they induced the king of the monkeys to enter their hole unattended, and seated him on the hearth. The Monkey, not suspecting any plot, took the hibashi, or poker, to stir up the slumbering fire, when bang! went the egg, which was lying hidden in the ashes, and burned the Monkey's arm. Surprised and alarmed, he plunged his arm into the pickle-tub in the kitchen to relieve the pain of the burn. Then the bee which was hidden near the tub stung him sharply in his face, already wet with tears. Without waiting to brush off the bee, and howling bitterly, he rushed for the back door; but just then some seaweed entangled his legs and made him slip. Then down came the pestle, tumbling on him from a shelf, and the mortar, too, came rolling down on him from the roof of the porch and broke his back, and so weakened him that he was unable to rise up. Then out came the crabs in a crowd, and brandishing on high their pinchers they pinched the Monkey so sorely that he begged them for forgiveness and promised never to repeat his meanness and treachery.

あるとき、サルとカニが、山のまわりを歩いていて出会いました。

サルはかきのたねを拾っていて、カニはやいたおもちを一きれ持っていました。これを見たサルは、すぐに役に立つものを手に入れたいと思って、言いました。「どうか、そのおもちと、このかきのたねを取りかえておくれ。」カニは何も言わずにおもちをわたし、かきのたねを受け取って、土にうえました。するとすぐにめが出て、まもなく、ずっと上を見上げないと見えないほど高い木になりました。木にはかきがどっさりなりましたが、カニには木にのぼることができません。そこでサルに、のぼってかきを取ってくれるようにたのみました。サルは木のえだにのぼると、かきを食べはじめました。まだ青いかきはカニに投げつけ、よくうれたおいしいかきは、みんな自分のふくろに入れてしまいました。木の下にいたカニは、こうらをひどくいためましたが、運よく、なんとか自分のあなににげこみました。そして、いたくて苦しくて、起き上がることもできずに横になっていました。さて、カニの親せきや家の者たちは、このことを聞くと、おどろいておこり、いくさを始めると言って、サルにせめかかりました。するとサルは、おおぜいの家来をつれて出てきて、あいてにいどみかかりました。カニたちは、このおおぜいのサルたちにはとてもかなわないとわかると、ますますくやしくなっておこり、あなの中に引き上げて、いくさの話し合いをしました。そこへ、うすと、きねと、ハチと、たまごがやってきて、みんなでかたきをうつための、よく考えたはかりごとを立てました。

まず、カニたちとなかなおりをしたいと申し入れました。そうしてサルの王さまを、ひとりきりであなにこさせるようにして、いろりのそばにすわらせました。サルは、まさかたくらみがあるとは思わず、火ばしを手に取って、消えかけた火をかきおこしました。そのとき、パン！ はいの中にかくれていたたまごがはじけて、サルのうでにやけどをさせました。びっくりしてあわてたサルは、やけどのいたみをしずめようと、台所のつけものおけに、うでをつっこみました。すると、おけのそばにかくれていたハチが、もうなみだでぬれていたサルの顔を、ちくりとするどくさしました。サルはハチをはらいのけるひまもなく、ひいひいなきさけびながら、うらロへかけだしました。ところがちょうどそのとき、海そうが足にからまって、つるりとすべってしまいました。そこへ、たなからきねがころげ落ちてきて、さらに、げんかんのやねからうすもころがり落ちてきました。うすにせなかをひどく打たれたサルは、すっかり弱って、起き上がれなくなりました。そこへカニたちがぞろぞろ出てきて、はさみを高くふりかざし、サルをちょきちょきとこらしめました。サルはたまらず、ゆるしてくださいとあやまり、もう二度と、いじわるやうらぎりはしませんとやくそくしました。

たんご と クイズ さるかに合戦

Monkey サル	**Crab** カニ	**rice-cake** おもち
tree 木	**persimmons** かき（くだもの）	**bee** ハチ
egg たまご		

Q1 **サルは、おもちと何を取りかえようと言った？**

① くりの実　② かきのたね　③ おにぎり

Q2 **サルは、まだ青いかきをどうした？**

① 自分で食べた　② ふくろに入れた　③ カニに投げつけた

Q3 **はいの中にかくれていて、サルのうでにやけどをさせたのはだれ？**

① たまご　② ハチ　③ うす

こたえ

Q1 ②　サルは「そのおもちと、このかきのたねを取りかえて」とカニにたのみました。

Q2 ③　青いかきはカニに投げつけ、おいしいかきは自分のふくろに入れてしまいました。

Q3 ①　はいの中にかくれていたたまごがパンとはじけて、サルのうでにやけどをさせました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19993（Traditional (tr. A. B. Mitford)、1919年）。パブリックドメイン。

挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。

朗読（Web版）：Annoying Twit（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）

和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。